

A

## 学ぶ・語る・出会う

# 社会人ボランティアの声

仙才 守さん

受講科目

・宗教と人間

—授業を受けられての印象はどうか？

A.哲学的な側面がある授業ですねえ……。とてもいいと思います。書いてあるものを勉強するのもいいんだけど、知識を入れるというより自分で考えていくというか……。この授業の形は大学の勉強に参加しているという感じがしますね。

—どういうきっかけで申し込みを？

A.会社で転進支援制度っていうのがありましてね、その能力開発休暇をとったんです。2年あるんですが、その間に第二の人生を模索しようとして……。それで開放実践センターで書道を習いたいなと思ったんですね。そこでパンフレットを見て申し込みました。

—書道が第二の人生のファーストステップに？

A.書道だけに限ってはないんですよ。ずっと心残りでした。書道と剣道をしておけばよかったっていうのが（笑）剣道は今からは難しいけど、書道は大丈夫だなと思って。

—これまでのお仕事とは何か関係があったのですか？

A.何にもないです（笑）でも好きだったんですね。字を見るのも……。字だけじゃなくて絵画も好きですね。仕事でいろいろな国に行きましたけどその国の美術館は必ず行きました。昔から、伝統工芸とか芸術とか文化的なものに興味があったんですね。

—なるほど……。ではなおさら授業に参加していただけてよかったです。

A.ええ。そう思います。それに「学びのコミュニティー」、こちらにも参加できて良かったと思っています。ここで、生涯教育についてよくお話をされていますよね。ここでの試みって素晴らしいと思います。やっぱり学びは生涯にわたるものだと思うし、大学という雰囲気の中でこういう取組に参加できるのはいいと思いますね。

—そうですねえ。学びのコミュニティーでは韓国の大学とインターネットで結んで生涯教育について一緒に学び合おうというところまでできましたからね！

A.ええ、私も何かできることお手伝いできたらと思ってます。

—営業のお仕事長くされてきたと伺ったのですが、お話を聞いてるとなんだかイメージが違うような・・・(笑)

A.そうですね。もともとは通信機の回路設計の仕事をしてたんですよ。でも数学の先生になりたくてね。社会人になってから大学の夜学に入り直したんですよ。

—先生に！？

A.はい。数学が好きだったんですね。『大学の数学』なんて雑誌読んでましたからね。その時かなあ・・・一番勉強しました(笑)教科書選びから自分でしましてね。その時のノートは今でも持ってますよ。

—すごい！でも、そのままお仕事を続けられたのですか？

A.やっぱり仕事が目の前にありましたからね。それに設計の仕事は楽しかった。設計はエキサイティングな部分がありますからね。その後、東京から徳島に帰って来る際に営業畑に入ったんです。だからどっかにあったんですね。こういう学術的な場に身を置きたいというような。

—なるほど・・・お仕事を続けられながらもずっとご自分の興味を持ち続けて自分のスタンスを通されたという印象を受けました。

A.そうですね・・・営業には珍しいタイプだったかもしれませんね(笑)

—でも、だからこそ今とても充実してらっしゃるように感じます。これからの人生を楽しみながら探してらっしゃるような。では学生になにかメッセージを・・・

A.そうですね・・・社会に出るとどうしても必要なものしか勉強しないんですね。でも学生の時は、自分の興味のあることを、時間をかけて勉強できますよね。それはいい時期だになって思いますよ。

やわらかな口調で、これまでのさまざまな経験をお話して下さった仙才さん。淡々と話される様子でありながら、その光景が目に浮かぶような不思議な感覚を覚えました。学生とじっくりとお話していただく機会があったらなあ・・・そんなことを感じました。

仙才さん、ありがとうございました。

5月18日(月) 学生支援室にて